



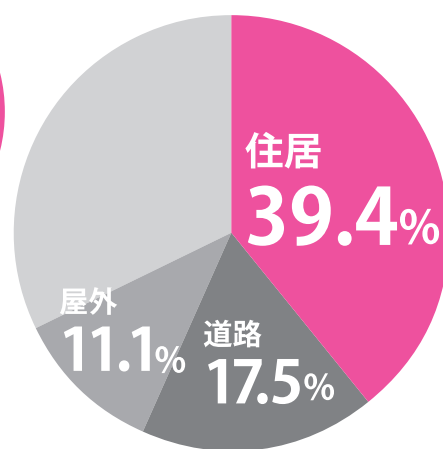
テーマ

室内でも起きる 危険な室内熱中症にご注意



熱中症の
約4割は、
室内で
起きています

熱中症の発生場所



出典元：総務省消防庁令和3年10月報道発表資料より
（「住居」は「住居（敷地内全ての場所を含む）」数値を使用）

熱中症対策は「窓」がポイント！

＼今なら／補助金活用でお得に窓リフォーム！

詳しくは
裏面へ

毎年暑くなると増える「熱中症」。その約4割が、実は室内で発生していることをご存知ですか？とくに体温調節機能が十分に発達していない子どもや、温度に対する感覚が弱くなる高齢の方は熱中症にかかりやすいため、室内にいる時も十分注意が必要です。熱中症対策で快適な住まいづくりのコツをご紹介します。

気をつけたい熱中症対策のポイント！



温度と湿度を
こまめにチェック

快適の目安
温度：26～28℃
湿度：60%前後



室内を
涼しく適温に



こまめな
水分・塩分
補給

1日あたり
水1.2ℓ目安



生活リズムを整える



バランスの良い
食事としっかり
した睡眠



暑さに負けない
身体作り

適度な運動と湯船に
つかって入浴など

室内熱中症は、室温や湿度の高さ、風通しが悪い環境、水分補給不足などの要因で起きるリスクが高まります。室温を快適に保つために日よけをつけ、さらにエアコン効率をアップさせる窓の断熱リフォームをするのもおすすめ。今なら超大型補助金が活用できます。

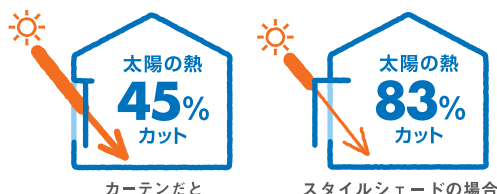
おすすめ対策は裏面へ！

電気代も大幅節約!「窓」の熱中症対策

電気代節約のためにも、暑い日差しは室外でカットしてエアコン効率を高める対策がおすすめです。

窓の外で日差しを遮る

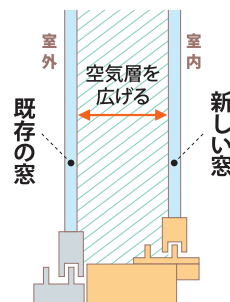
暑い日差しは、室内に入る前に外付け日よけなどで室外でカットするのが効果的。エアコン効率がアップし光熱費の節約に。紫外線も遮り日焼け対策にも役立ちます。



※一般複層ガラスの窓にスタイルシェードを使用した場合の性能です。
関連JISなどに基づき計測および算出した値であり、保証値ではありません。

窓の断熱性能を高める 二重窓<インプラス>

今ある窓の内側に樹脂製の窓を取付ける二重窓は、空気の層が生まれることで、エアコン効率が上がり光熱費節約に。暑い夏の日差しを遮断するには、遮熱高断熱 Low-E 複層ガラスがおすすめ。戸建てにもマンションにも手軽に後付けできます。



手軽にできる、窓の熱中症対策。窓リフォームで快適に!



外付け日よけ スタイルシェード

暑い日差しや紫外線をカットし冷房効率アップで光熱費削減にも。外からの視線も遮り、見た目もおしゃれで快適に。

実際の温度
シミュレーションを
動画でチェック!



1箇所あたり
約 30分~



断熱内窓 (二重窓) インプラス

今ある窓の内側に新しい窓を取付けるだけ。1窓最短1時間のスピード施工で断熱性が高まりエアコン効率がアップします。

【ガラス選びもポイント】
「Low-E 複層ガラス」に替えれば、さらに快適に

1窓あたり
約 1時間~

断熱性能の高い窓リフォームなら補助金でお得に!

超 **今がチャンス!** 窓から省エネリフォーム 窓リフォームで今ならなんと **最大 50% 還元**

※住宅エコポイント制度、復興支援・住宅エコポイント制度、省エネ住宅ポイント制度、次世代住宅ポイント制度、グリーン住宅ポイント制度、こどもみらい住宅支援事業、住宅省エネ2023キャンペーン、住宅省エネ2024キャンペーンの予算規模と比較して、ほぼ同等もしくはそれ以上の規模であるという趣旨です。

補助金を上手に活用してお得にリフォームしましょう!

*制度の適用には条件があります。

お問い合わせはお気軽にどうぞ!